

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客さまとともに

50th
Anniversary



第51期 中間報告書

2018年1月1日 ▶ 2018年6月30日

証券コード：8060

目次

株主のみなさまへ	1
部門別概況	3
トピックス	5

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。
当社第51期の中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当中間期における当社グループの業績は、企業向けITソリューションが順調に推移したものの、デジタル一眼レフカメラやインクジェットプリンターなどが低調に推移したことにより、売上は減収となりました。また営業利益も、収益性の高い商品の売上減などにより減益となりました。中間配当金につきましては、1株あたり25円（前期と同額）とし、年間では期初に公表のとおり、1株あたり60円（前期と同額）を予定しております。

今期の後半は、コンシューマセグメントの市場が想定以上に低迷していることに加え、プロフェッショナルセグメントの一部において進捗が計画より遅れているため、通期で減収減益となる見込みです。しかしながら、2018年1月1日付で移行した市場及び顧客に基づいた新組織体制を全社に更に浸透させると共に、市場毎に顧客との関係性を深め、高い価値を提供することにより、成長へのシフトと収益力の向上に一層努めてまいります。

引き続き株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年8月



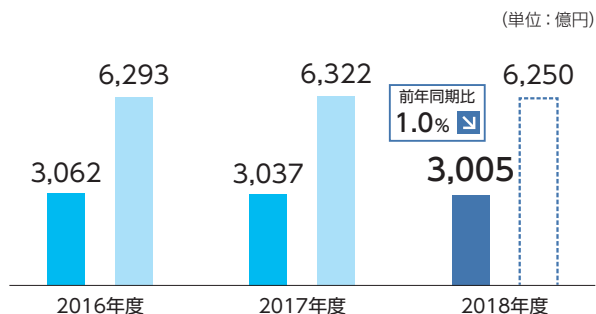
代表取締役社長 坂田正弘

* 本報告書では2018年1月1日から2018年6月30日までを「中間」と記述しています。

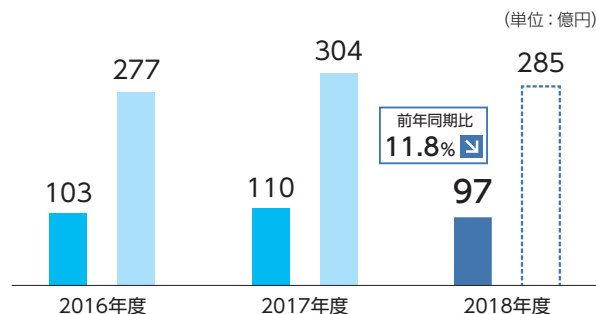
業績ハイライト

(金額は表示単位未満四捨五入)

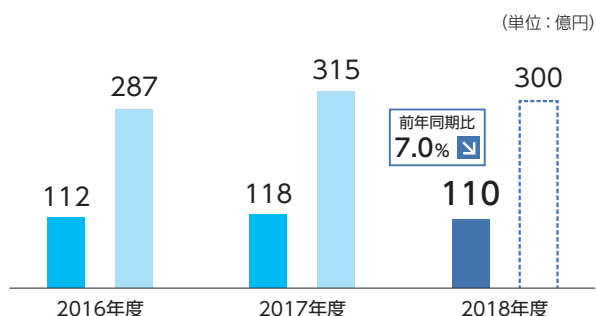
売上高



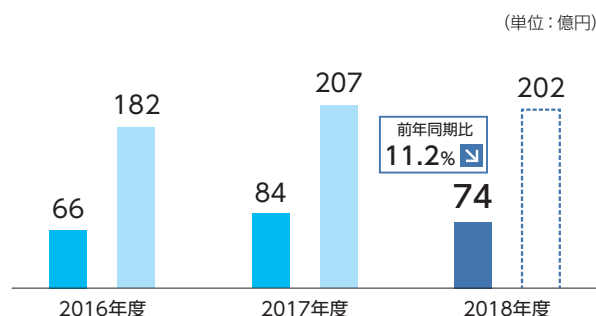
営業利益



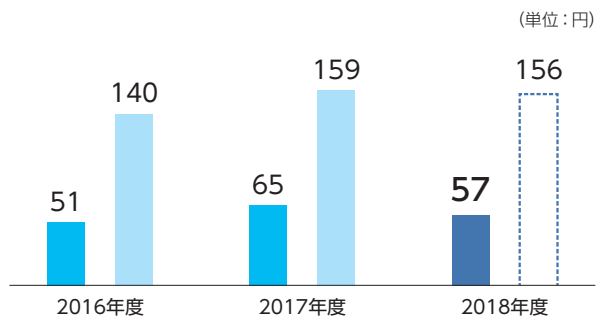
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益



詳細な業績については、
当社IRサイトをご覧ください。

canon.jp/8060-ir



部門別概況

当社グループは「長期経営構想フェーズⅢ」の基本方針の実現に向けて、2018年1月1日付で、従来の商品に基づいた組織体制から、市場及び顧客に基づく新たな組織体制へ移行しました。

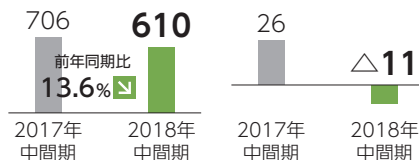
この変更に伴い、当中間報告書より、部門区分(報告セグメント)を従来の「ビジネスソリューション」「ITソリューション」「イメージングシステム」「産業・医療」から、「コンシューマ」「エンタープライズ」「エリア」「プロフェッショナル」に変更しました。

*前中間期の部門別数値も当中間期と同じ部門をベースに組み替えており、概況の増減に関する記載は、前中間期の売上高との比較に基づいています。なお、各部門の売上高には、部門間の内部売上高または振替高が含まれています。



個人のお客さまを対象に、デジタルカメラやインクジェットプリンターなどを提供 コンシューマ

■売上高 (単位: 億円) ■営業利益 (単位: 億円)



■ レンズ交換式デジタルカメラ

▶▶3月に発売した「EOS Kiss M」が好調に推移しシェアNO.1を獲得したことなどにより、ミラーレスカメラは増収となったものの、デジタル一眼レフカメラが市場縮小の影響により低調に推移したため、レンズ交換式デジタルカメラ全体は減収

■ コンパクトデジタルカメラ

▶▶市場の低迷により減収

■ インクジェットプリンター

▶▶ビジネスインクジェットプリンターが順調に推移したものの、家庭用市場の低迷により減収、インクカートリッジもプリントボリュームの低下などにより減収

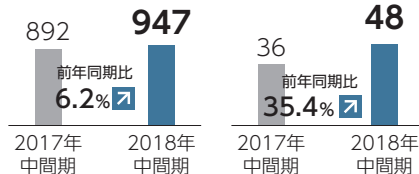
■ ITプロダクト

▶▶ゲーミングPCやペリフェラル関連が順調に推移し、大幅に増収



大手企業を対象として、業種ごとの経営課題解決に寄与するキヤノンの入出力機器やソリューションを提供 エンタープライズ

■売上高 (単位: 億円) ■営業利益 (単位: 億円)



■ 金融業向け

▶▶大型SIが好調に推移、生保向けの帳票設計関連ソリューションや損保向けクラウドシステムは堅調に推移、証券向け開発案件の拡大なども寄与し増収

■ 製造業向け

▶▶自動車メーカー向け営業支援システムや、建材メーカー向けシステム移行サービスなどが好調に推移し増収

■ 流通業向け

▶▶鉄道会社における営業支援システムや、総合商社向けの貿易関連特定業務ソリューションなどが牽引するとともに、オフィスMFPの大型案件の受注などもあり増収

■ 文教向け

▶▶学内の情報発信や学習管理などをIT基盤システムとして提供している「in Campus」で複数の案件を獲得したことなどにより増収

■ データセンターサービス・車載組み込みソフトビジネス

▶▶堅調に推移

■ オフィスMFP

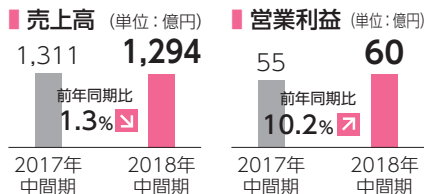
▶▶金融・製造・公共・流通など幅広い業種で出荷が堅調に推移し増収

■ レーザープリンター

▶▶引き続きオフィスMFPへの集約が続くとともに、案件が低調に推移したため減収



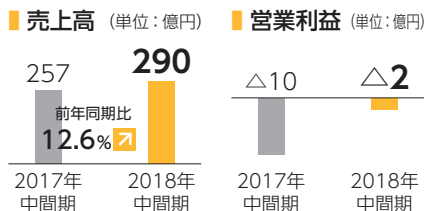
全国の中堅・中小企業を主要顧客として、顧客の経営課題解決に寄与するキヤノンの入出力機器やソリューションを提供 エリア



- 中小企業向けIT支援クラウドサービス「HOME」
 - ▶▶ 堅調に推移
- ウイルス対策ソフト「ESET」
 - ▶▶ 堅調に推移
- レーザープリンターカートリッジ
 - ▶▶ 特定業種の開拓により堅調に推移
- 保守サービス
 - ▶▶ オフィスMFPなど主力のハードウェアが低調に推移したことに加え、保守単価の下落などにより減収



プロダクションプリンティング、産業機器、ヘルスケア、映像ソリューションの各専門領域の顧客を対象としたソリューションを提供 プロフェッショナル

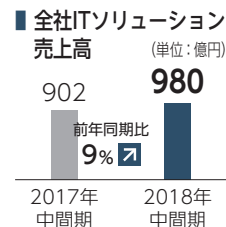


- プロダクションプリンティング
 - ▶▶ 高速カットシートプリンターはほぼ横ばいで推移したものの、高速連帳プリンターが低調に推移し減収
- 産業機器
 - ▶▶ 半導体関連市場は引き続き活況を呈し、半導体製造装置の新規取扱製品や検査計測装置などの増加により、半導体事業の売上は大幅に伸長、非半導体事業も計測機器や産業用コンポーネントなどの伸長により増収
- ヘルスケア
 - ▶▶ 医療情報システムや眼科機器などは伸長したものの、病院向けのモデルケースが低調に推移したことにより減収
- 映像ソリューション
 - ▶▶ 放送事業者向けは引き続き好調に推移したものの、ネットワークカメラにおいては昨年の大型ロット商談の反動もありほぼ横ばい

全社ITソリューションの状況

ITソリューションは、システム開発やデータセンターなどのITを主とした事業においてはもちろん、当社グループの他の事業においても不可欠な要素となりつつあります。当社グループでは、ITソリューションを成長の原動力と捉え、その拡大に向けて取り組んでいます。

この結果、当中間期の各部門売上高に含まれる全社ITソリューション売上高の合計は980億円となり、前中間期に比べ9%の増加となりました。



トピックス 2018年1月▶6月

「imageRUNNER ADVANCE Gen3 2nd Edition」 7シリーズ30モデルを発売

当社は、オフィス向け複合機の新製品として「imageRUNNER ADVANCE Gen3 2nd Edition」7シリーズ30モデルを1月22日に発売しました。

これらの新製品は、2016年2月以降に発売された「imageRUNNER ADVANCE」の第3世代製品の高品質な基本性能を継承しながら、すでにご利用いただいているユーザーの声を反映して機能を向上させるとともに、クラウドサービスとの連携を強化し、オフィスにおける生産性の向上と管理負荷の低減に貢献しています。



エントリーユーザー向けミラーレスカメラ 「EOS Kiss M」を発売



当社は、エントリークラスの一鏡レフカメラにおける代表的なブランド「EOS Kiss」を製品名に初めて冠した最新ミラーレスカメラ「EOS Kiss M」を3月23日に発売しました。

「EOS Kiss」は1993年に誕生した、当社における入門者向けの一鏡レフカメラを象徴するブランドです。本製品は「EOS Kiss」の領域を新たにミラーレスカメラに拡大し、高画質でありながら小型軽量サイズを実現。幅広いユーザーニーズに応えます。

AIを活用した授業支援クラウドシステム 「in Campus Scan」を提供開始

当社と当社子会社のキャノンITソリューションズ株式会社（以下、キャノンITS）は、AI技術を活用した授業支援クラウドシステム「in Campus Scan」を6月1日より提供開始しました。

「in Campus Series」は、キャノンITSの独自開発による教育支援情報のプラットフォームです。「in Campus Scan」は学校のテストやレポートなどの採点集計を自動化し、学習成果や成績処理の業務の効率化を実現することで教員の働き方改革を支援します。



「健康経営銘柄2018」に選定

当社は、経済産業省と株式会社東京証券取引所（以下、東証）が共同で実施する「健康経営銘柄」に初めて選定されました。

「健康経営銘柄」は、東証の上場企業の中から、従業員の健康管理を経営的な視点から考え戦略的に取り組んでいる企業を評価し、1業種につき1社を選定するものです。当社は、「経営理念」「組織体制」「制度・施策実行」「評価・改善」の全項目で高評価を得ました。

今後、より一層の安全配慮の徹底、自己健康管理力向上の推進と健康風土の醸成に取り組み、生き生きと健康な社員と会社を支える健康経営の実現に向け推進していきます。

キヤノンマーケティングジャパングループ創立50周年記念 ウィーン少年合唱団日本公演に特別協賛



当社は、4月末から6月中旬まで全国各地で開催されたウィーン少年合唱団の2018年日本公演に、今年も特別協賛しました。2005年から13回目の協賛となる本年は、「キヤノンマーケティングジャパングループ創立50周年記念」という冠をつけての公演となりました。

芸術の魅力を伝える取り組みを通じて、文化の醸成や国際文化交流に貢献しています。

ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会を応援しています

キヤノンは、ラグビーワールドカップ2019™日本大会のオフィシャルスポンサーとして協賛しています。開催都市などで展開中の「キヤノンラグビーウォールギャラリー」では、新開発の耐水ポスター用紙に大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF」シリーズで印刷した迫力あるラグビーの写真を掲示し、大会を盛り上げています。

また、開幕まで500日となった5月には、当社本社ビルであるキヤノン S タワー1Fの総合受付スペース壁面でも掲出を開始しました。今後も、オフィシャルスポンサーとして大会を全力でサポートしていきます。

TM© Rugby World Cup Limited 2015



コミュニケーション活動のご案内

説明会・IRイベント

5月、大和インベスター・リレーションズ株式会社が主催した個人投資家向け会社説明会に、社長の坂田が登壇しました。約410名の参加者に向け、当社グループの沿革や事業内容、業績推移、中期経営計画等の説明を行いました。また、このほか、SMBC日興証券株式会社での会社説明会も行いました。

今後もこのような機会をなるべく多くつくりたいと考えております。今後の予定は、随時当社IRサイトに掲載してまいります。



大和インベスター・リレーションズ株式会社が主催した個人投資家向け会社説明会

メールマガジン配信

毎週、IR情報をはじめとして、各種イベントへの出展情報・無料セミナーの情報をお送りしています。当社IRサイト「投資家向け情報」掲載の右記マークよりご登録ください。



IRサイトのご紹介

- IRニュース
- IR資料
- 経営方針
- 株式情報
- 財務データ

上記を含めIR情報については、当社IRサイトをご覧ください。

canon.jp/8060-ir



キャノンMJ IR

単元未満株式（1～99株）の買増・売却制度について

当社株式の売買単位（単元）は100株であり、単元未満株式（1～99株）については、証券市場にて売買できませんが、以下のお手続きが可能ですのでご案内申し上げます。

●買増制度

単元（100株）にするために必要な株数の当社株式を、当社より市場価格でご購入いただける制度です。例えば、現在180株をご所有の場合、20株買い増していただき2単元（200株）とすることができます。

●売却制度

ご所有の当社の単元未満株式（1～99株）を当社に市場価格でご売却いただける制度です。

- ・当社の単元未満株式を証券会社の口座でご所有の株主さまは、当該証券会社にてお手続きください。
- ・当社の単元未満株式を特別口座でご所有の株主さま（証券会社にお取引口座がない株主さま等）は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社【電話(0120)288-324(フリーダイヤル)】までお問い合わせください。

キャノンマーケティングジャパン株式会社

本社：〒108-8011 東京都港区港南二丁目16番6号 / 電話 (03) 6719-9111

表紙写真：野町和嘉

キャノンカレンダー2018

「World Heritage Journey 世界遺産を訪ねて」より
オーストラリア グレートバリアリーフ

